

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 12月 28日

【評価実施概要】

事業所番号	0174100305		
法人名	医療法人 孝仁会		
事業所名	グループホームはまなすの家星が浦		
所在地	釧路市星が浦大通3丁目9番9号 (電話) 0154-55-6256		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年11月26日	評価確定日	平成19年12月28日

【情報提供票より】(19年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 12年 4月 15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 15人, 非常勤 2人, 常勤換算	10.94人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	49,000 円	その他の経費(月額)	7000~10,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,500 円		

(4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	17名	男性 4名	女性 13名
要介護1	1	要介護2	5
要介護3	6	要介護4	5
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 79.4歳	最低 61歳	最高 91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	星が浦病院・中谷歯科医院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所の職員は熱意を持って日々のケアサービスに取り組んでいる。職員間の意思の疎通も充分図られ、意見を伝えやすい環境が整えられている。また、運営者は職員育成にも熱心に取り組んでおり、内部・外部研修に参加する機会を多く設け、職員は積極的に受講している。事業所内には利用者が撮った写真が飾られるなど、家庭的な雰囲気を有している。今後も利用者のその人らしい生活の継続が期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善事項はなかったが、ヒヤリハット・事故報告書について再検討して事故予防に努めるなど、更なる質の向上に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価検討委員会に職員が参加し、各項目を検討しながら自己評価に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	家族会代表・町内会長・民生委員・地域包括支援センター職員等を構成員とし、定期的に運営推進会議を開催している。会議では事業所の行事・評価結果・感染症対策等について報告し、活発な意見交換を行っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	事業所内部・外部の苦情相談窓口を家族に伝えている。また、年に1回家族アンケートを実施し、職員は家族の意見・要望・不満等の把握に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、地域の行事に積極的に参加している。また、事業所の行事にボランティアの協力があるなど、地域との連携が図られている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念をつくりあげ、地域の中で暮らし続けていけるよう支援している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議等で理念を確認して共有し、日々実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、地域の行事や活動に参加しており、近隣住民が事業所を訪問することも多く、地域との交流を図っている。	○	今後、事業所の実績や知識を活かして認知症ケアの啓発をするなど、地域貢献の取り組みが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員も評価検討委員会に参加し、各項目を検討しながら自己評価に取り組んでいる。	○	今後、全職員で話し合いながら自己評価を行い、さらなる質の向上に取り組むことが期待される。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議において事業所の運営状況や評価結果等について話し合っている。また、警察へ依頼して行ったSOSネットワークのシミュレーション結果も報告し、今後は地域住民の協力も得られるような体制を築くよう努めている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者と日常的に相談・報告等の連絡を取っており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に1度、便りを家族に送付し、利用者の暮らしぶり・健康状態・金銭管理等について報告している。また、利用者の状況に変化があった場合はそのつど電話連絡を行っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>年に1回家族アンケートを実施しており、職員は家族の意見・要望・不満等の把握に努めている。また、内部・外部の苦情相談窓口を明示し、家族が気軽に意見等を伝えられるような雰囲気づくりに努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動・離職は最小限に抑えるよう努めている。また、異動等があった場合は引継ぎ期間を十分設けるなど、利用者へのダメージを防ぐ取り組みを行っている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>段階に応じた研修に参加する機会を多く設けており、職員は積極的に受講している。また、受講後は他の職員への研修内容の共有を図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加盟しており、研修等への参加を通じてサービスの質の向上に向け取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に面談したり事業所見学をしてもらい、他の利用者と過ごすことにより徐々に事業所の雰囲気に馴染めるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者から料理などの家事を教えてもらったり、正月には着物の着付けをもらったりなど支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者との会話から一人ひとりの希望・意向を把握できるよう努めている。また、利用者の生活歴に応じてその人らしい生活となるよう支援している。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者本人・家族の意見・希望等を聞きながら、全職員で話し合い、介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度介護計画の見直しを行っている。また、利用者の状況変化に応じてそのつど話し合い、現状に即した介護計画となるよう取り組んでいる。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院の際の付き添いや外出の際のお弁当の用意など、利用者の状態に応じた柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の希望に合わせたかかりつけ医への受診支援を行っている。また、歯科・皮膚科の往診や週に2回、訪問看護を受けるなど、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重要事項説明書に重度化した場合の指針を明示し、事前に家族と話し合っている。</p>	○	<p>今後、重度化した場合の方針について家族・関係者を交えてより詳しく話し合い、情報を共有することが期待される。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者の誇りやプライバシーを損ねることのないような声かけや対応の徹底を図っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>外出・食事にかかる時間・入浴時間など、一人ひとりの希望に沿って支援できるよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力に応じた食事の準備や後片付けなどを職員と一緒にやっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に応じた入浴支援を行っており、夜間の入浴も可能である。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	歌・園芸・編み物・パークゴルフ・洗濯物たたみなど、利用者の生活歴を活かした役割や楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の食材の買出し・パークゴルフ・喫茶店など、利用者の希望に沿った外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、日中は鍵をかけていない。また、利用者が外出しそうな様子には職員は見守りながら付き添っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年に1回避難訓練を実施している。また、夜間を想定して利用者也参加した避難訓練を実施しており、運営推進会議で報告している。	○	地域からの協力も得られる体制が築かれつつあるため、今後の取り組みの継続を期待する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	利用者の食事・水分摂取量をチェック表に記録している。また、月に1度栄養士に献立を確認してもらっており、バランスの摂れた内容になっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	共用空間には利用者が撮った写真を飾り、季節感を感じられるような工夫をしている。また、音や光にも配慮しており、利用者が居心地良く過ごせるような空間となっている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には利用者が使い慣れた馴染みの物が持ち込まれており、本人が安心して過ごせるよう工夫している。		

 は、重点項目。